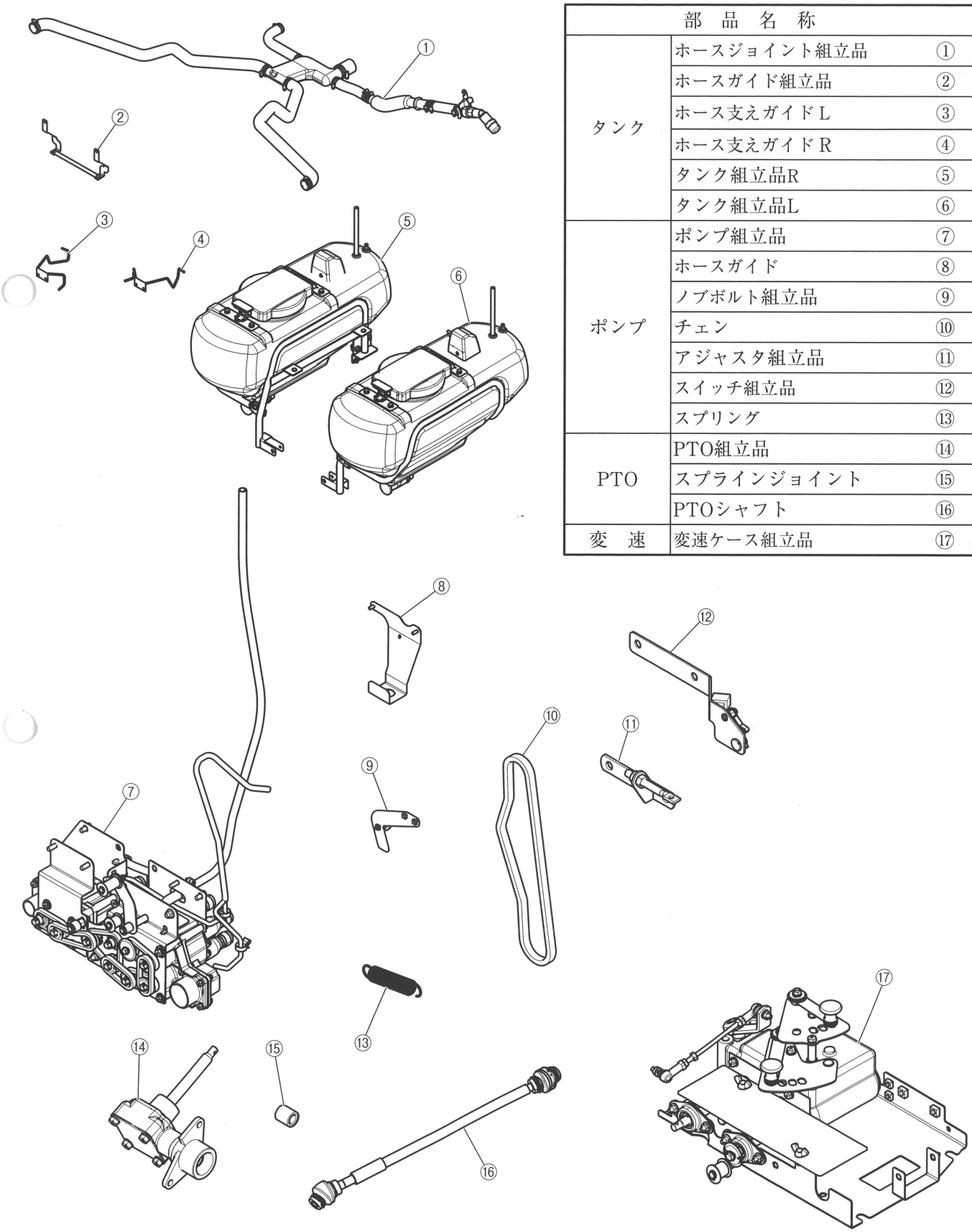
ペースト施肥機 PST-E8型 取付け要領書

No.031602-26055856002

1．キット部品の確認

（一覧表と部品を照らし合わせてください。）

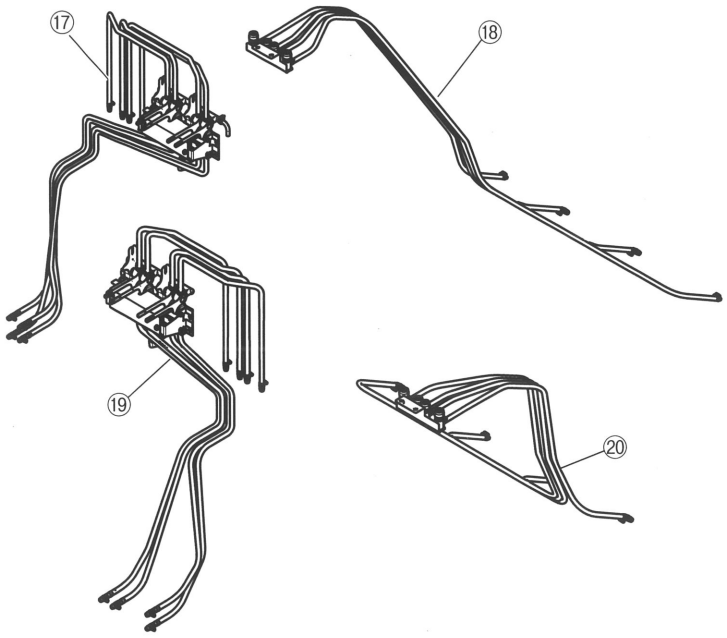


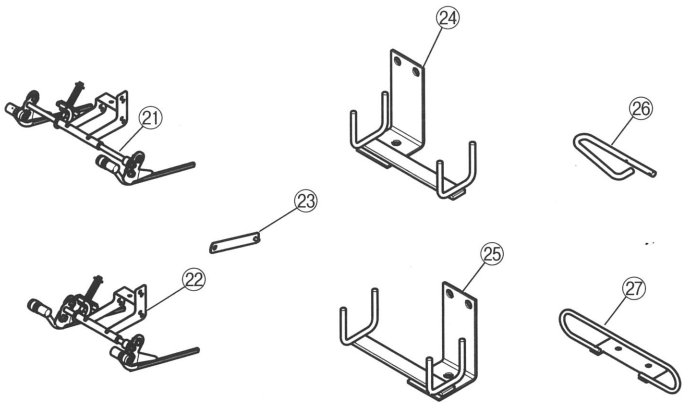
キット部品一覧表

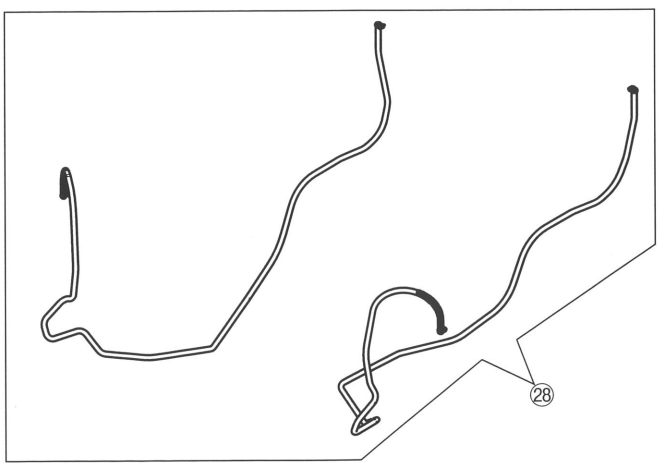
部品名称			個数
タンク	ホースジョイント組立品	①	1
	ホースガイド組立品	②	1
	ホース支えガイドL	③	1
	ホース支えガイドR	④	1
	タンク組立品R	⑤	1
	タンク組立品L	⑥	1
ポンプ	ポンプ組立品	⑦	1
	ホースガイド	⑧	1
	ノブボルト組立品	⑨	1
	チェン	⑩	1
	アジャスタ組立品	⑪	1
	スイッチ組立品	⑫	1
	スプリング	⑬	1
PTO	PTO組立品	⑭	1
	スプラインジョイント	⑮	1
	PTOシャフト	⑯	1
変速	変速ケース組立品	⑰	1

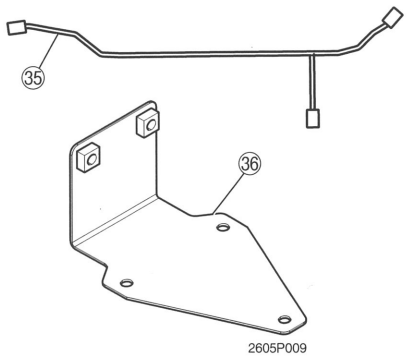
キット部品一覧表

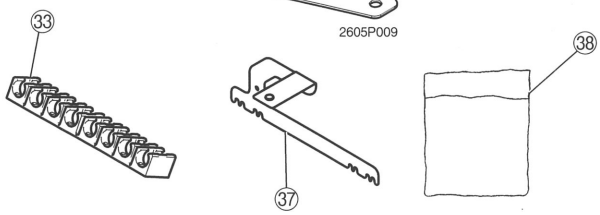
部品名称			個数
インジケータ	インジケータ組立品L	⑰	1
	パイプ組立品L	⑱	1
	インジケータ組立品R	⑲	1
	パイプ組立品R	⑳	1
ノズル	ノズル組立品A	㉑	2
	ノズル組立品B	㉒	2
	プレート	㉓	4
パイピング	パイプガイドR	㉔	1
	パイプガイドL	㉕	1
	パイプガイド	㉖	2
	パイプガード	㉗	1
	戻しホース	㉘	2
	押さえプレート	㉙	1
	ベース	㉚	1
	ホースカバー	㉛	1
	ブラケット	㉜	1
	ホルダ	㉝	1
	コック組立品	㉞	1
電装	リードワイヤJ	㉟	1
	電装ガイドプレート	㊱	2
ノズルゲージ	ノズルゲージ	㊲	1
取付部品	各種ボルト・ナット・バンド等	㊳	一式
その他	施肥量マーク	㊴	1
	取扱いマーク	㊵	1
	エア抜きマーク	㊶	1
	操作ラベル	㊷	4
	取付要領書	㊸	1

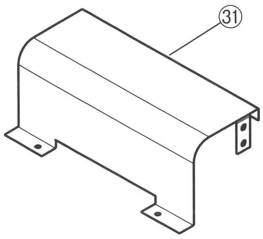


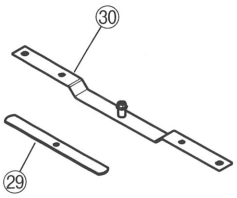


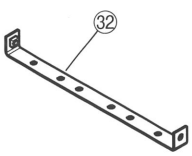




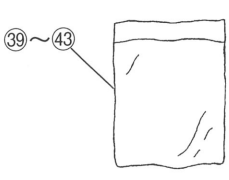


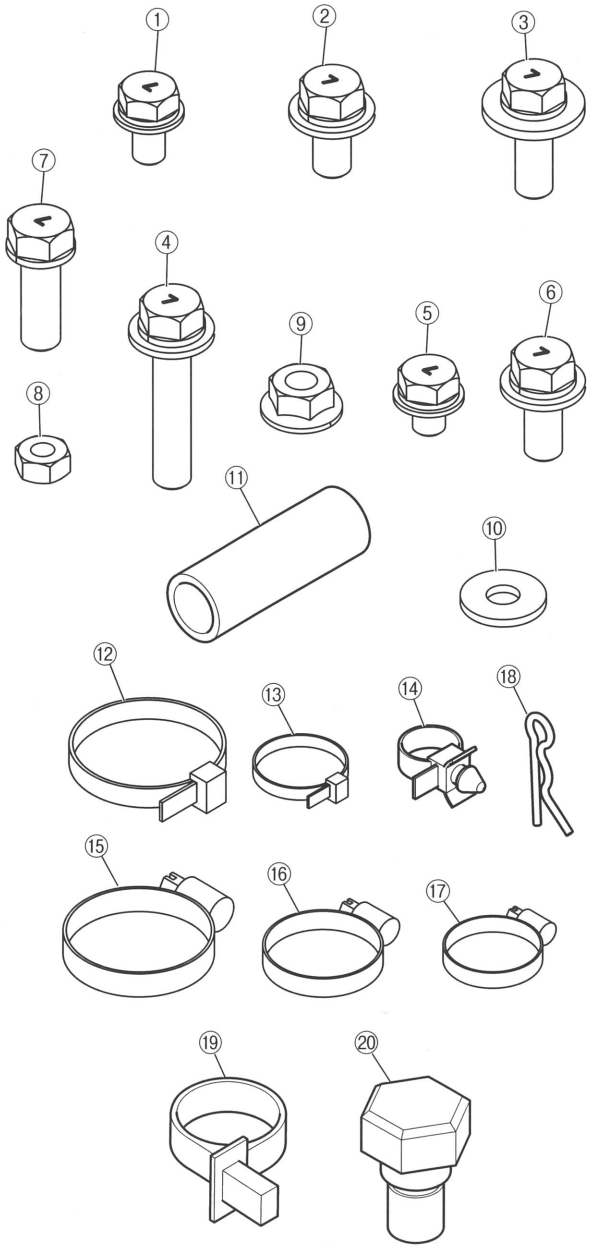










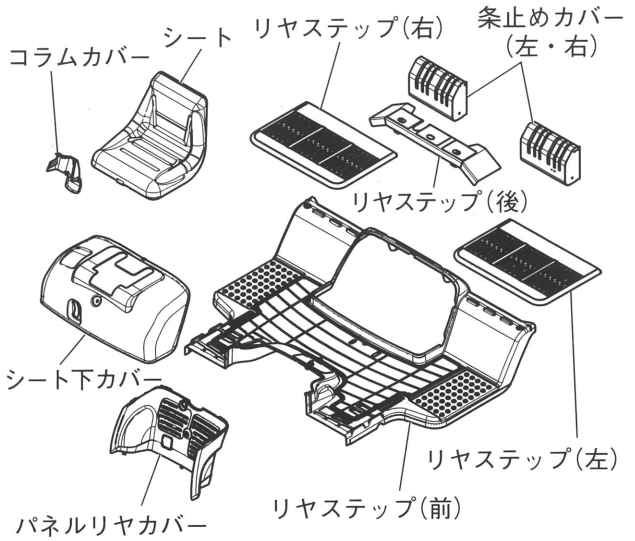


・取付部品㊳の内訳

No.	名　　称	サイズ	個数
①	ボルト	M6×16	2
②	ボルト	M8×16	16
③	ボルト	M8×20	4
④	ボルト	M8×50	2
⑤	ボルト	M6×12	4
⑥	ボルト	M8×20	8
⑦	ボルト	M8×25	2
⑧	ナット	M6	1
⑨	ナット	M8	9
⑩	ワッシャ	φ18×t1.6	4
⑪	パイプ		2
⑫	ワイヤバンド（大）		21
⑬	ワイヤバンド（中）		5
⑭	ワイヤバンド		2
⑮	ホースバンド（大）		1
⑯	ホースバンド（中）		2
⑰	ホースバンド（小）		1
⑱	スナップピン		8
⑲	ワイヤバンド		4
⑳	胴付きボルト	M8×10	4

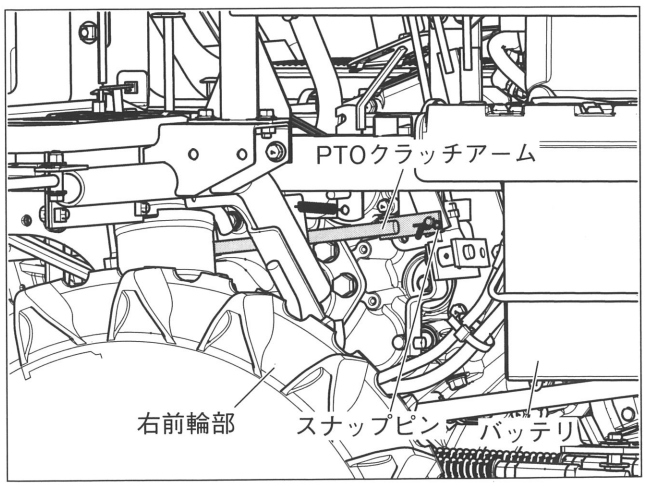
2. 本機の準備

❶ コラムカバーを取外します。
❷ パネルリヤカバーを取外します。
❸ シートを取外します。
❹ シート下カバーを取外します。
❺ リヤステップを取外します。
❻ 条止めカバーを取外します。
・条止めレバーのグリップ(4個)を外して下さい。
※取外したグリップ等は，無くさないように注意して下さい。

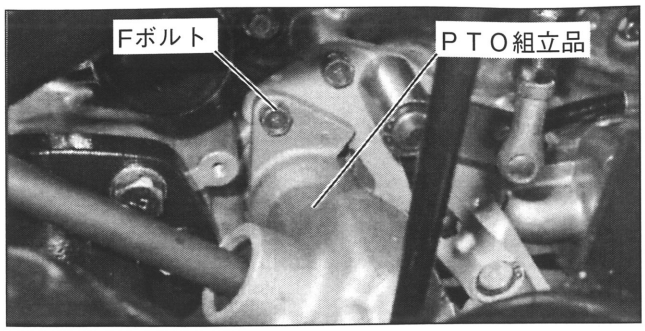


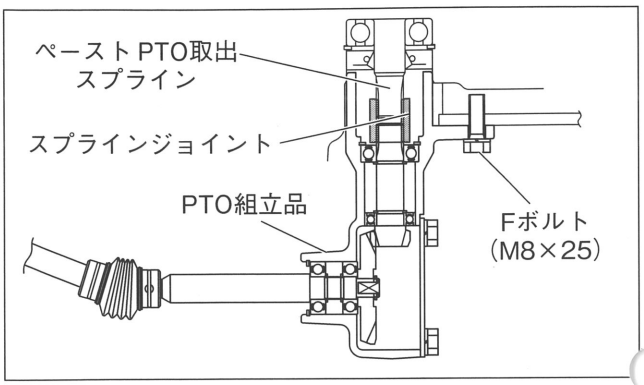
3. ＰＴＯ組立品の取付け

❶ スナップピンを外し，ＰＴＯクラッチアームを外します。



❷ PTO組立品にスプラインジョイントを入れ，ミッションケース横のペーストPTO取出口にＦボルト(M8×25) で取付けます。(スプライン部はグリスを塗布します)
※PTO取出口が汚れている時は掃除をします。

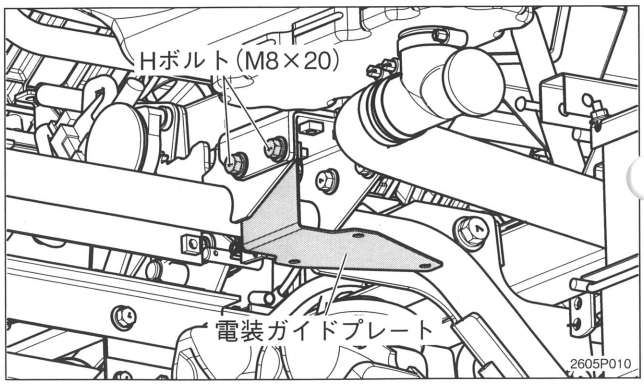




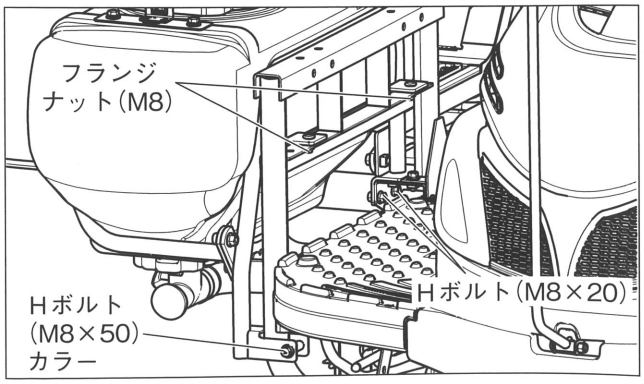
❸ ＰＴＯクラッチアームを取付けます。

4. タンク組立品の取付け

❶ 機体前方両側のフレームにタンク組立品L・Rを取付けます。タンク組立品下部のコの字プレートをフレームに挟み込むようにし，タンク組立品のＰボタンをフレーム穴に引掛け，Hボルト (M8×20) と電装ガイドプレートで取付けます。



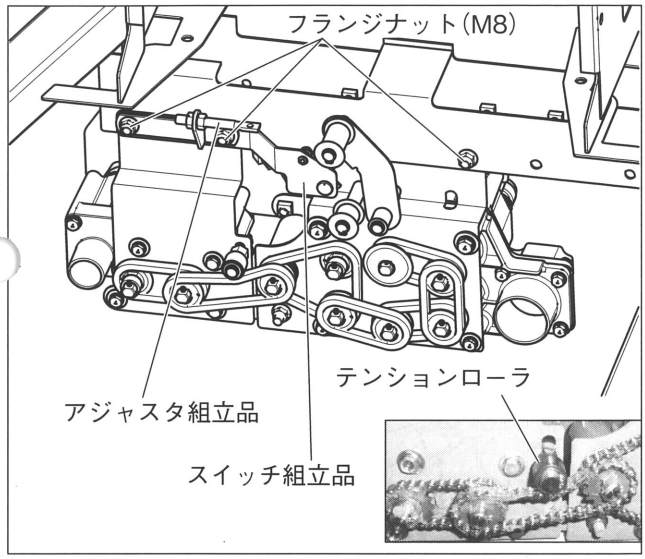
❷ タンク組立品下部のコの字プレートは，前方からカラーを挿入し，Hボルト (M8×20) で固定します。

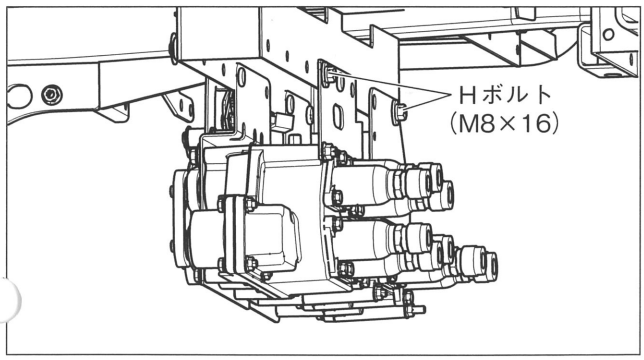


5. ポンプ組立品の取付け

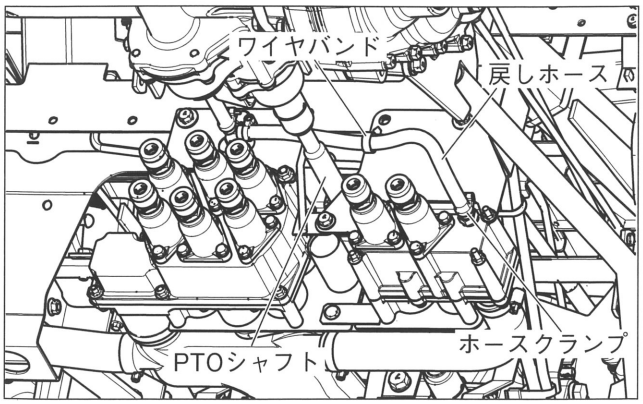
❶ チェンテンション部が十分張っているか確認します。不十分な時は，テンションローラを調整して張り直します。

❷ ポンプ組立品をフレームの後ろから引掛けるようにし，スイッチ組立品，アジャスタ組立品を挟んで，Hボルト（M８×16）とフランジナット（M８）で取付けます。

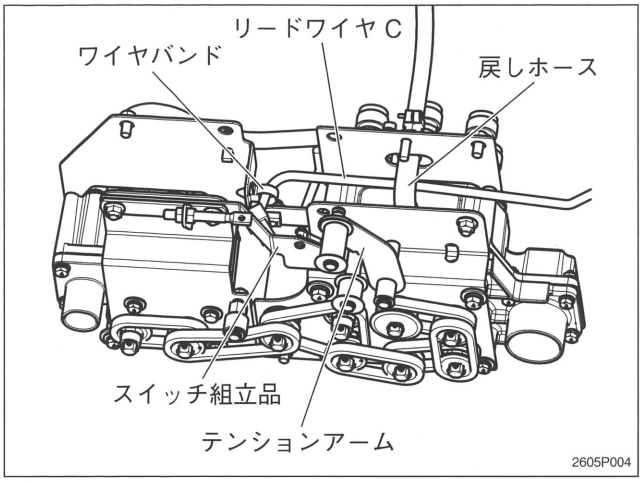




・その際にペースト戻しホースをPTOシャフトの上を通し，ワイヤバンド，ホースクランプで固定します。



・スイッチ組立品はリードワイヤCを取付け，ワイヤバンドで固定します。リードワイヤCはポンプの戻しホースの下を通しておきます。



❸ ポンプ組立品をフレームに取付後，テンションアームをスイッチ組立品側に倒した時に，スイッチが作動する（カチッと音がする）ことを確認してください。

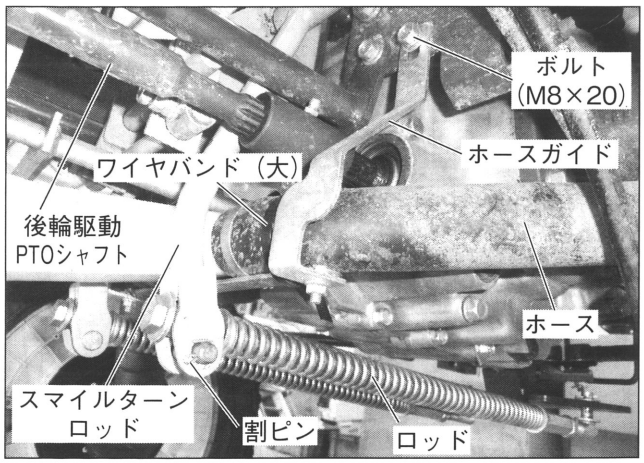
作動しない場合は，スイッチ組立品の取付けを調整してください。

6. ホースジョイント組立品

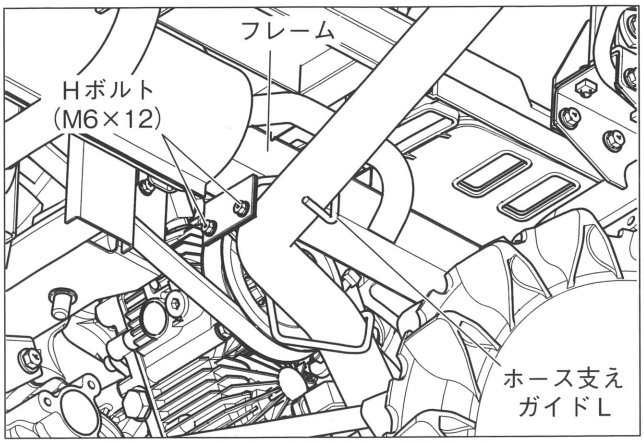
❶ サブタンク付きのゴムホースを，スマイルターンのロッド内側を通します。ホースガイドを下から挿入，ホースを支えるようにホースガイドをHボルト（M８×20）でフレームに左右仮付けします。

・スマイルターン取付ピンの割ピンを外し，ロッドを外しておくと作業が容易に行えます。

❷ ホースガイド組立品にワイヤバンド（大）で２箇所クランプし，後輪駆動PTOシャフトに当たらない位置でガイドを固定します。

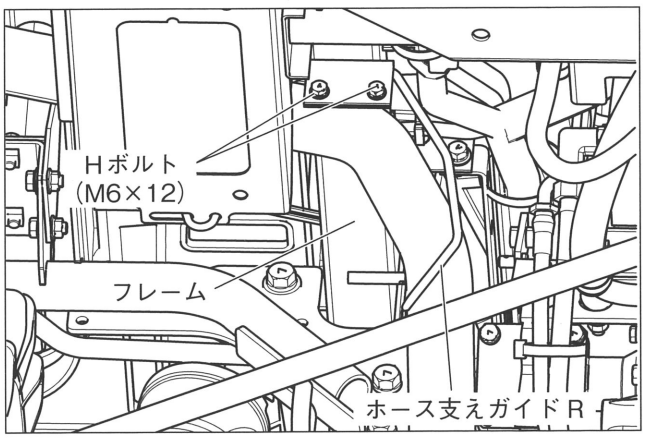


❸ 左側のホースにホース支えガイドLを通し，左前輪奥のフレームにHボルト（M6×12）で固定します。

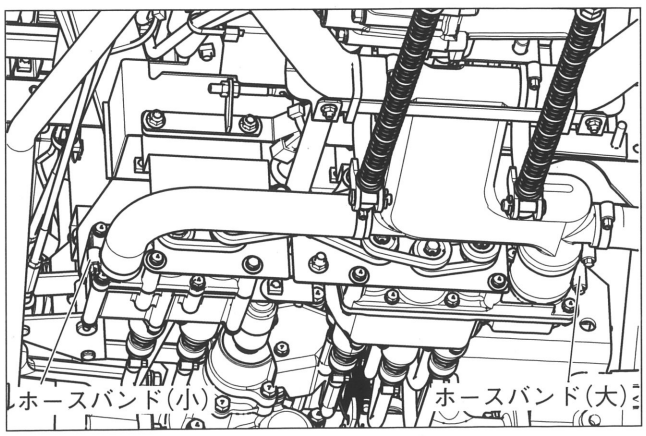


❹ 右側のホースにホース支えガイドRを通し，右前輪奥のフレームにHボルト（M6×12）で固定します。（ホースにホース支えガイドをあらかじめ通しておくと，作業が容易に行えます。）

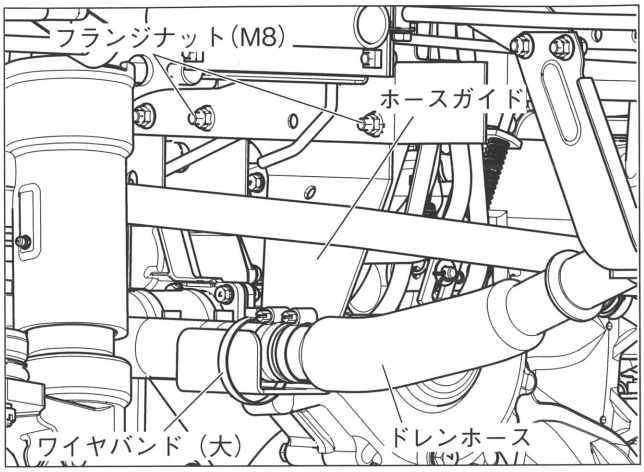
・左右のホースが同じ高さになっていることを確認してください。
・ハンドルをいっぱいに切ったときに車輪およびドラッグリンクとホースが接触しないことを確認してください。



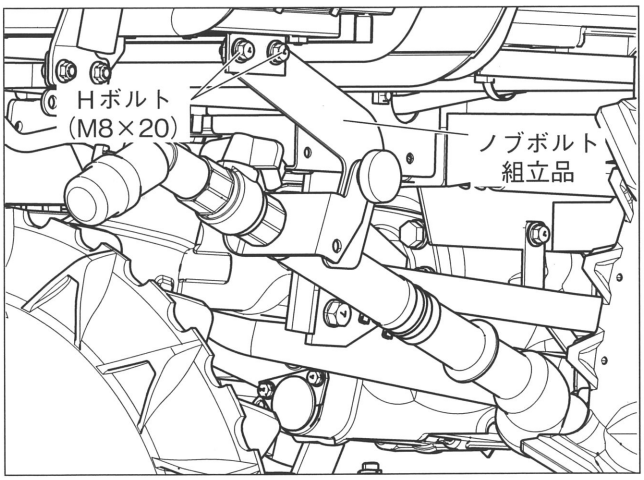
❺ サブタンクとポンプをゴムホースでつなぎ（2箇所）ホースバンドで固定します。



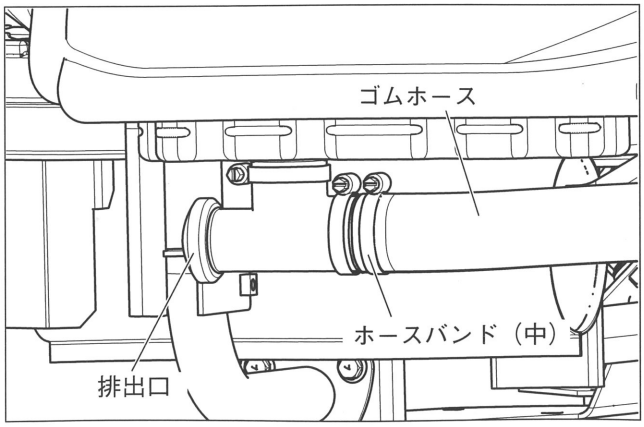
❻ ホースガイドをフランジナット(M8)でフレームに固定します。ドレンホースをホースガイドの上に通し，ワイヤバンド(大)でホースガイドに固定します。



❼ ノブボルト組立品をHボルト（M8×20）で固定し，ドレンホースのフックを引掛け固定します。

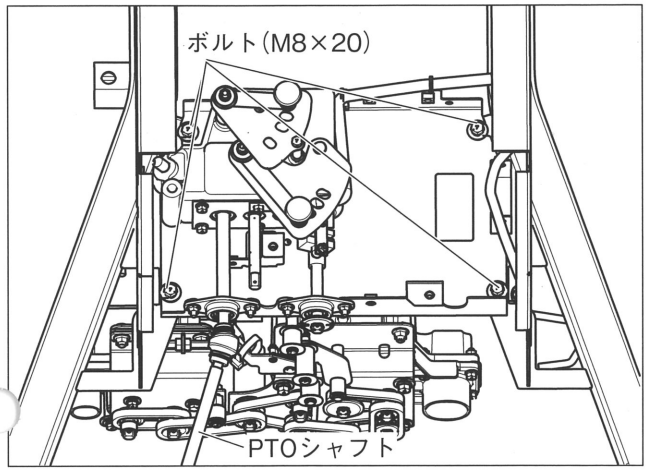


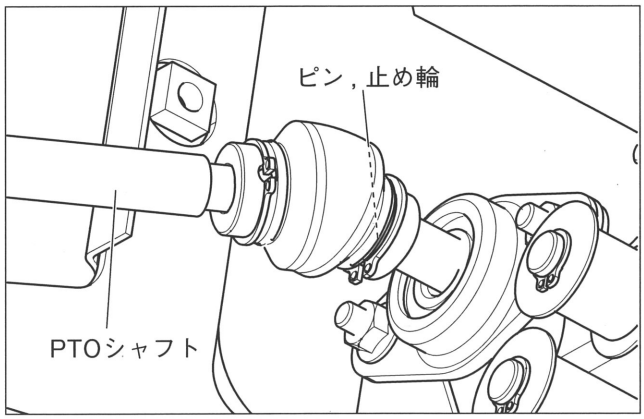
❽ タンクの排出口とホースジョイント組立品先端のゴムホースを結合し，ホースバンド(中)で締付けます。



7. 変速ケース・クラッチの取付け

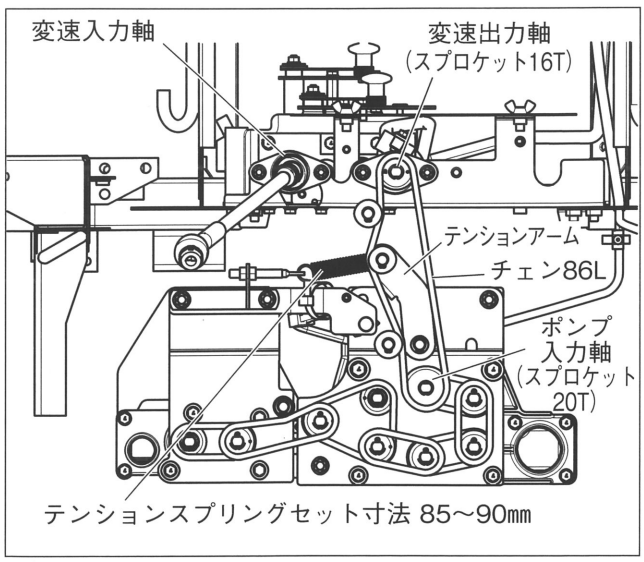
❶ 変速ケースをボルト（M８×20，大径ワッシャ付き）でフレームの上に取付けます。このとき，PTOシャフトを変速入力軸にピン，止め輪で接続します。(スプライン部にはグリスを塗布します。)

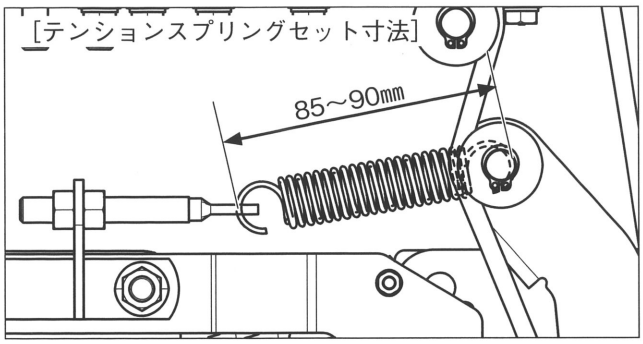




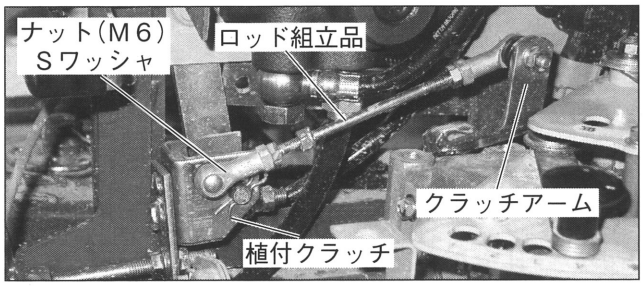
❷ 変速出力軸とポンプをチェンでつなぎ，テンションをかけてチェンを張ります。

※スプロケット16T とスプロケット20T の芯が合っていることを目視で確認してください。





❸ 植付クラッチ側面の穴と，変速ケースのクラッチアームをロッド組立品でつなぎ，植付クラッチ側だけＳワッシャ・ナット（Ｍ６）で固定します。(クラッチの調整は最後に行います。)

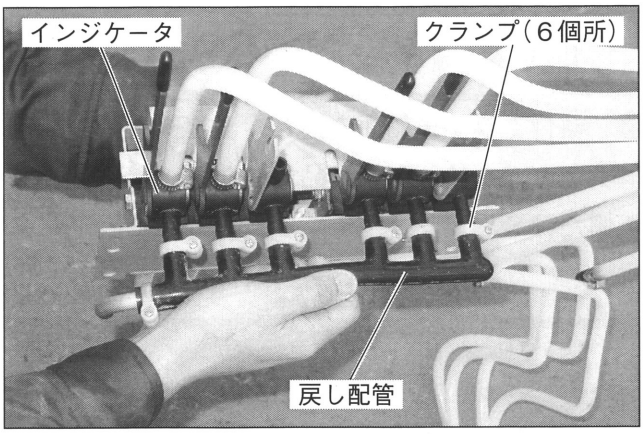


8. インジケータ組立品の取付け

左右共通の作業となります。

❶ インジケータの戻し配管を外します。

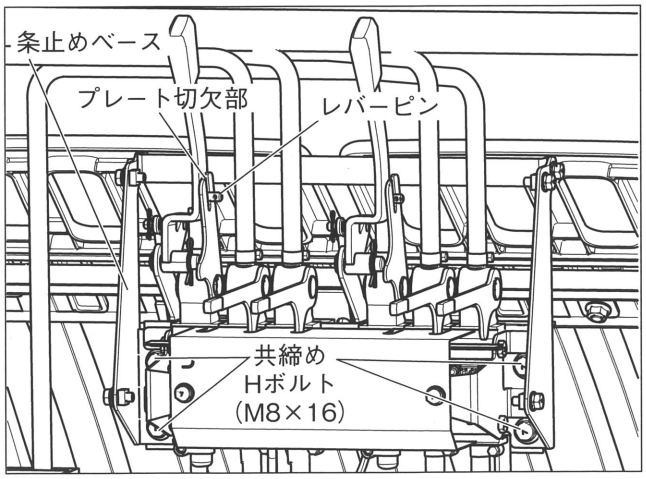
・クランプのねじをゆるめて外します。



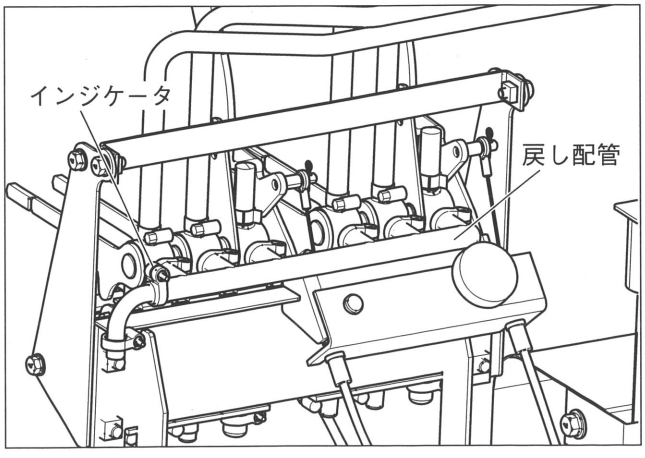
❷ インジケータ組立品を条止めベースに取付けます。

・条止めベース（ステーとブラケットのボルト止め）のHボルトを外します。

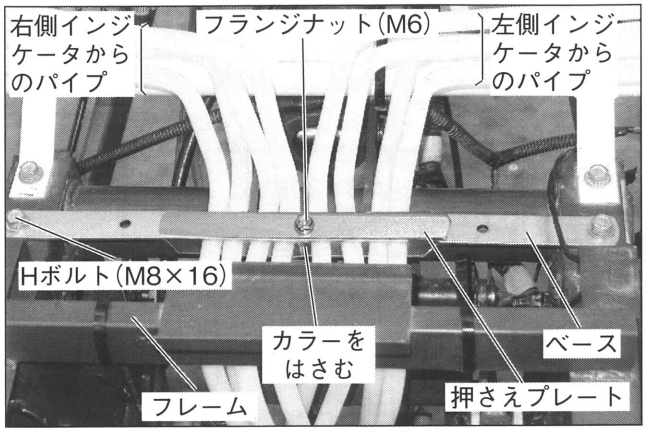
・植付条止めレバーのピンがインジケータのプレートの切欠部に入るように組付け，取外したHボルト（M８×16）で条止めベースとインジケータを共締めします。



❸ 裏側の戻し配管をインジケータに接続します。



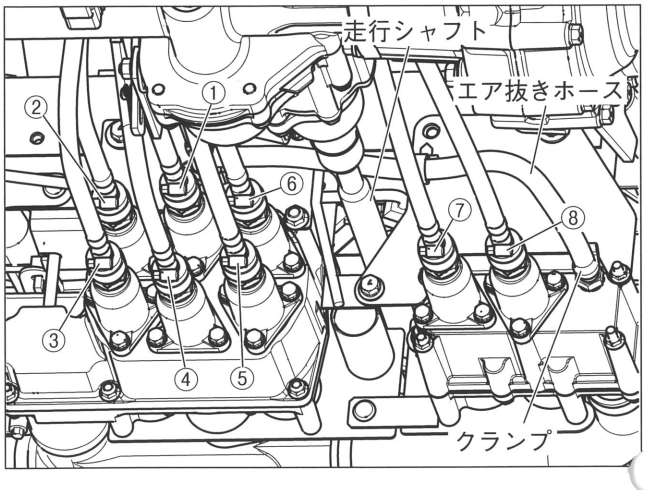
❹ フレーム後方の開口部にパイプをインジケータから出た順に並べ，カラーをはさんでベースと押えプレートでフレームにボルトで固定します。



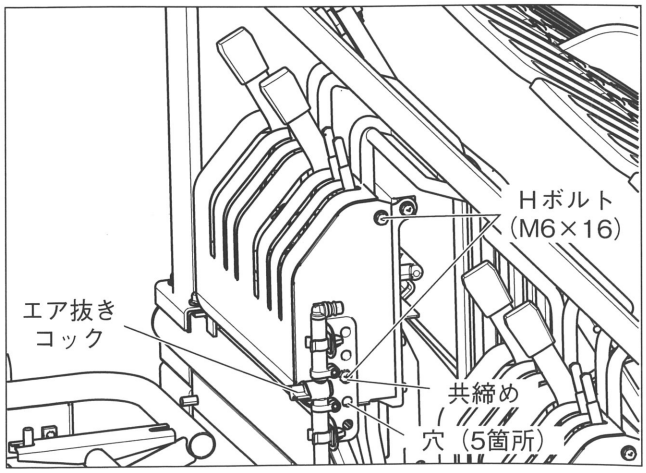
❺ ポンプのカプラとパイプを接続します。

・エア抜きホースも植付PTOシャフトや走行シャフトをかわして接続します。

・パイプをワイヤバンドでクランプします。(10～11ページ参照)

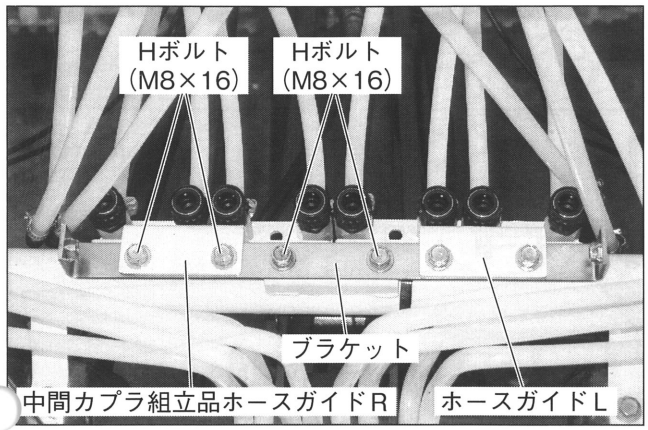


❻ 最初に外した条止めカバーを取付けます。エア抜きコックを右側カバーの内側に共締めします。エア抜きホースに山谷ができないように５箇所の穴位置で調節し，まっすぐにします。

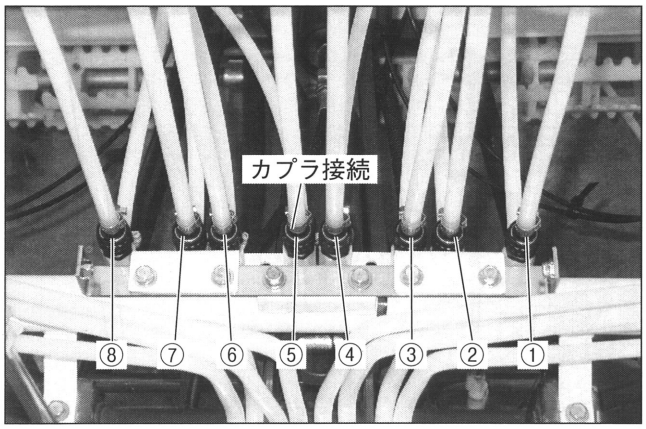


9. 中間カプラ組立品の取付け

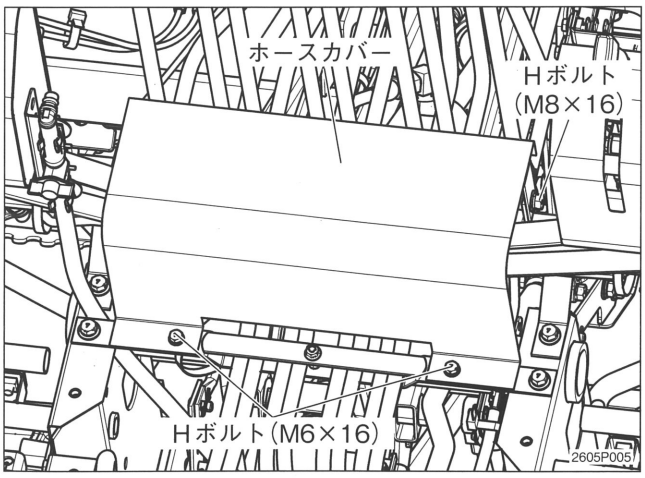
❶ ガイドフレームのサポート部にブラケットをHボルト（M８×16）で取付け，そこに中間カプラ組立品のホースガイド（L・R）をHボルト（M８×16）で取付けます。



❷ インジケータ出口パイプ先端を中間カプラに接続します。（10～11ページ参照）



❸ ホースカバーの両横をHボルト（M８×16）と前方をHボルト（M６×16）で取付けます。

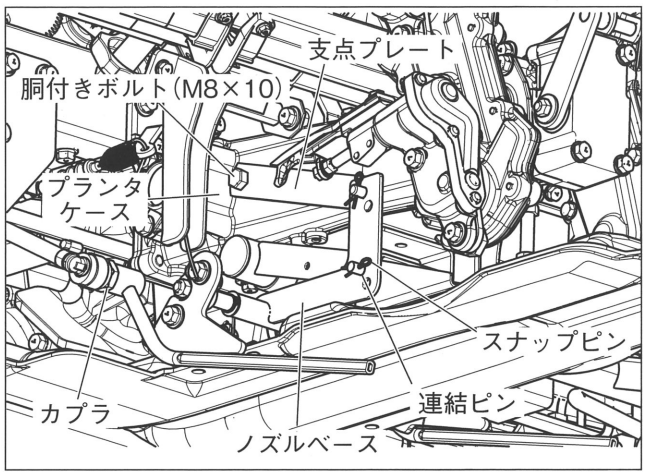


10. ノズル組立品の取付け

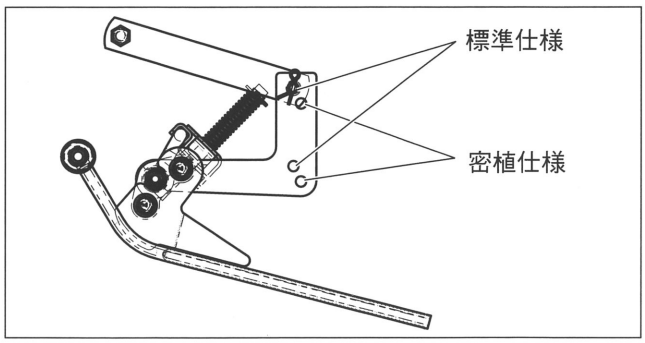
４箇所共通作業となります。

❶ フロートの連結ピンを抜いて，ノズル組立品のベースを同じピンで連結し，スナップピンで止めます。

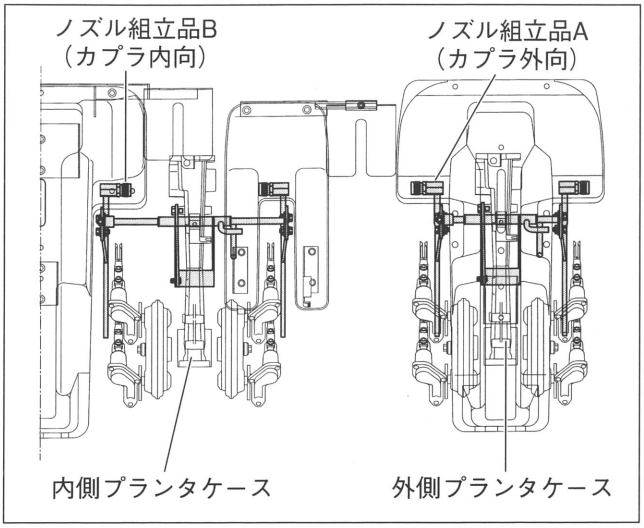
・ノズルの支点プレートとプランタケースを胴付きボルト（M８×10）で連結します。



・ノズルベースの取付穴は，標準仕様と密植仕様で異なりますので，注意してください。



・カプラが外側を向いたノズル組立品Aは左・右外側プランタケースの下部に，カプラが内側を向いたノズル組立品Bは，左・右内側プランタケースの下部にくるよう組付けます。



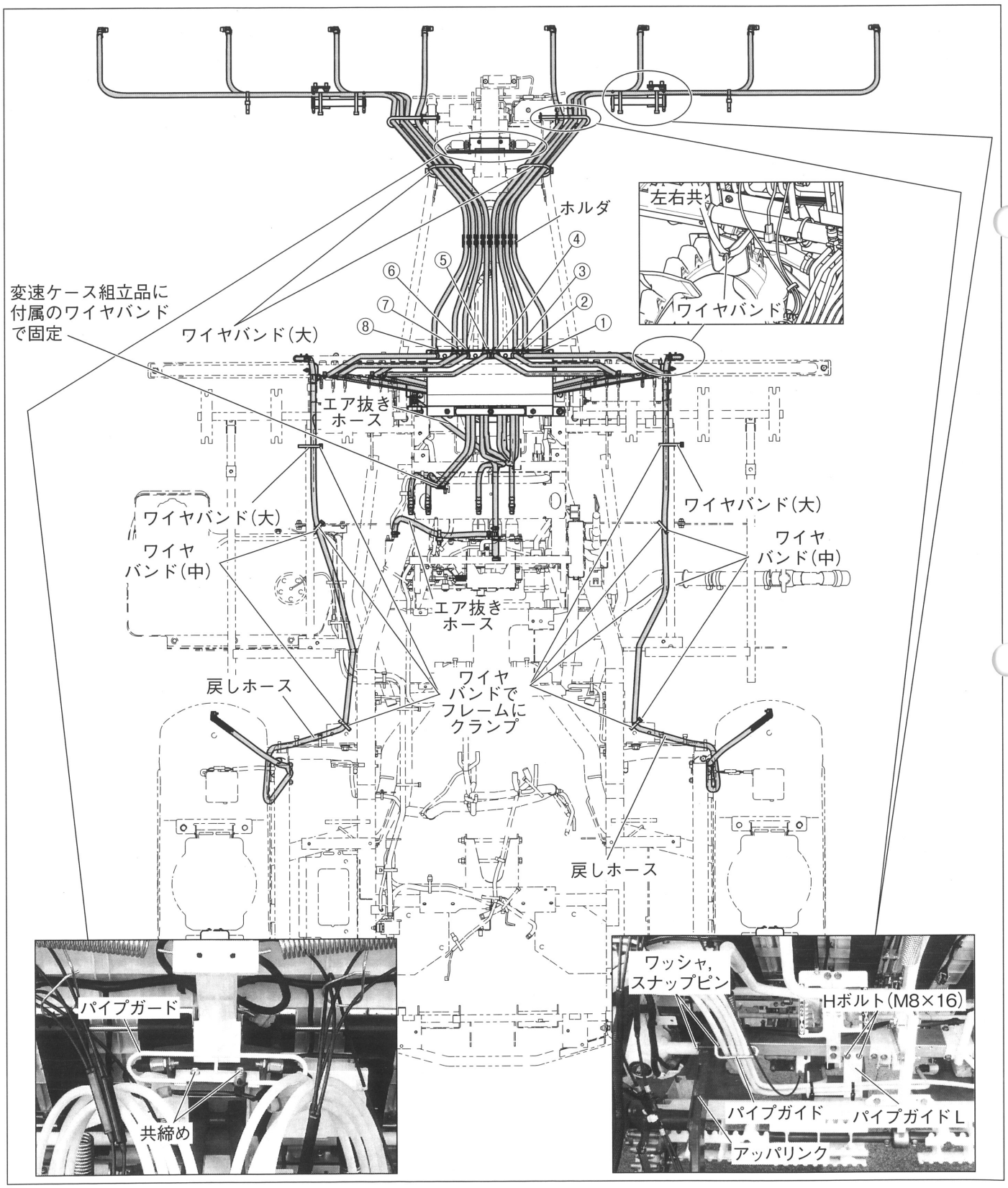
11. パイピング

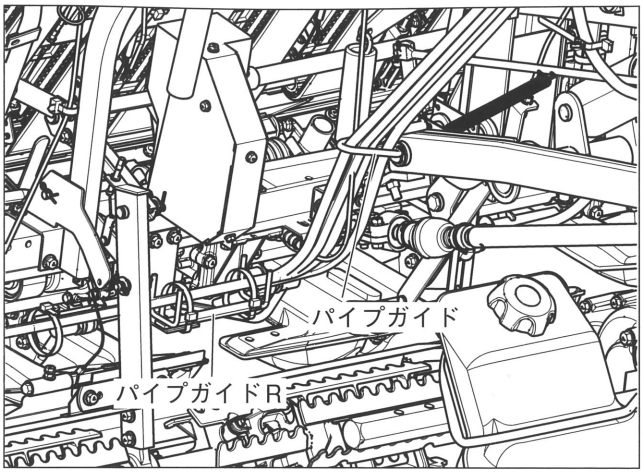
❶ パイプガイドL・Rを植付部角パイプにHボルト（M８×16）で取付けます。コの字プレートが内側に張り出す方向で取付けます。

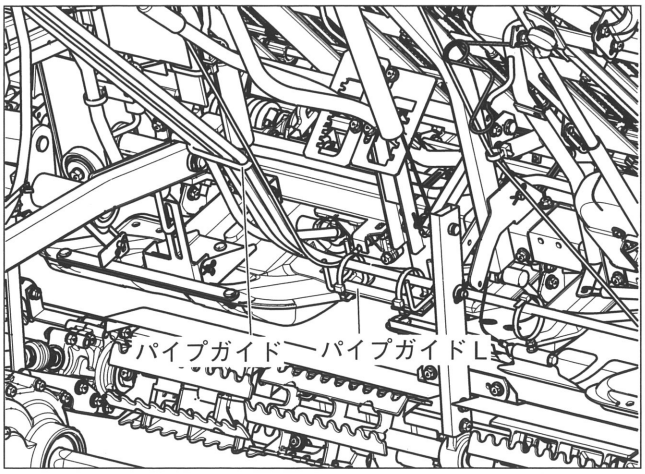
❷ パイプガイドにパイプを通し，左右のアッパリンク丸パイプ部にワッシャ，スナップピンで取付けます。

❸ 水平制御スイッチプレートの取付けボルトを外し，パイプガードを共締めし固定します。
（水平制御スイッチプレートの取付位置にマーキングをしておいてください。）

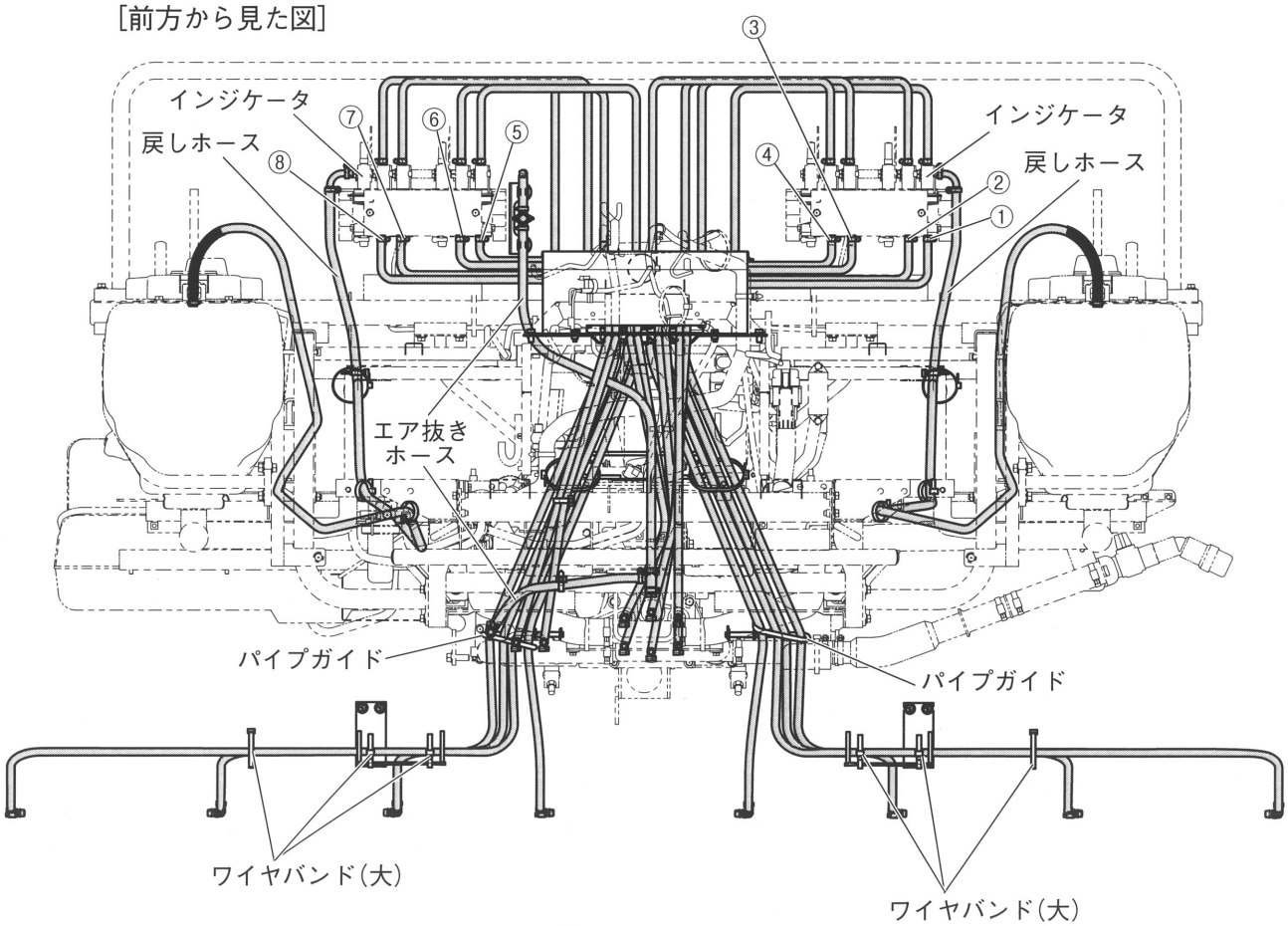
❹ 戻しホースはフレームに沿わせてタンクと接続します。



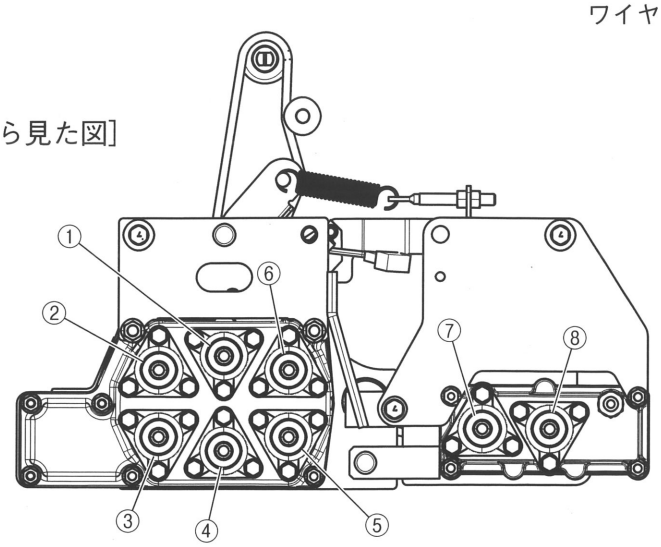




[前方から見た図]



[後方から見た図]



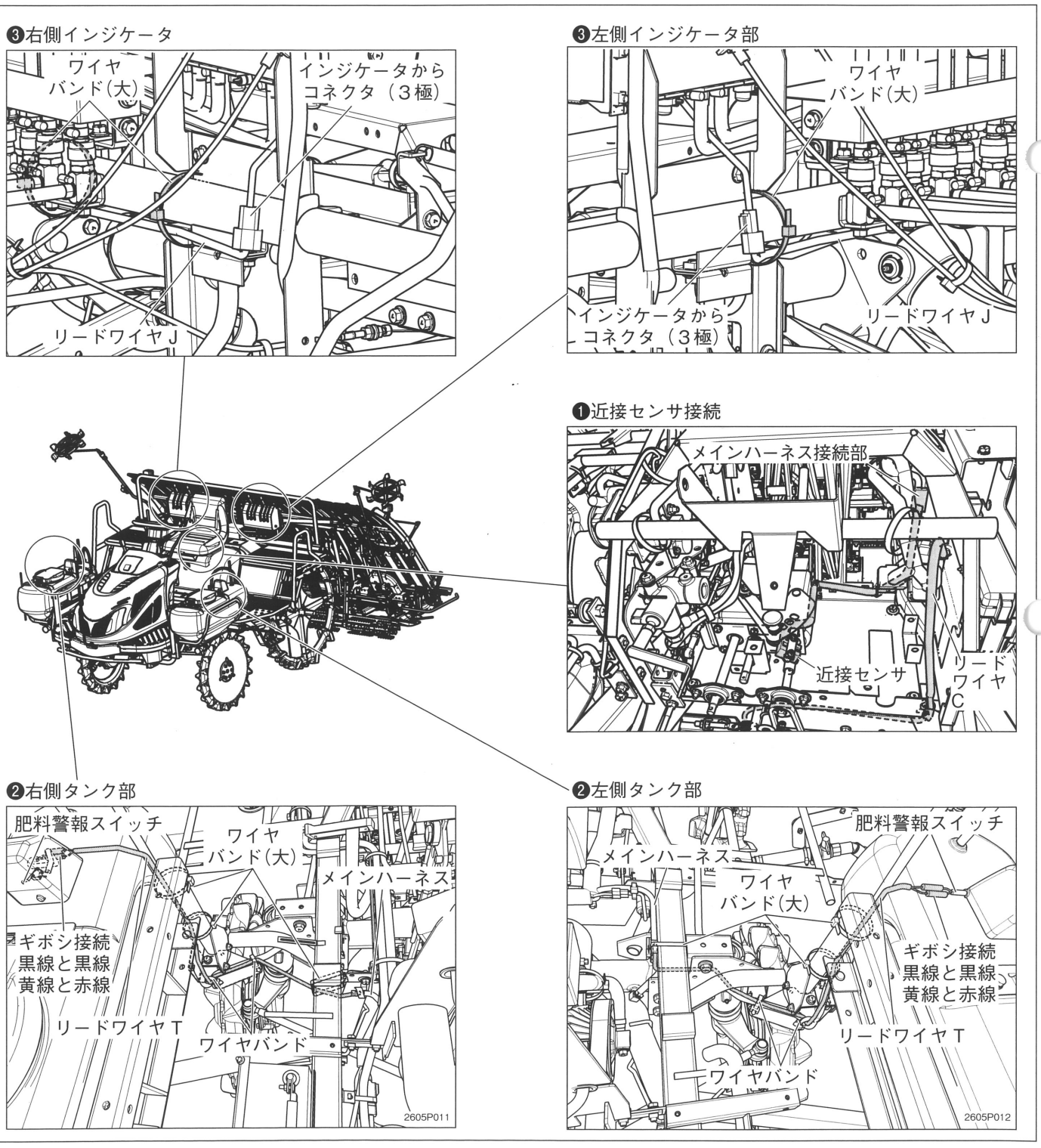
12. 電装関係の取付け

❶ 近接センサ（ペーストポンプ回転検出）のコネクタ（２極）を本機フレーム下部を通し，メインハーネスのコネクタと接続します。

戻しホースの下を通しているリードワイヤＣをメインフレームの穴を通してメインハーネスと接続します。

❷ リードワイヤＴのギボシ側を右タンクの肥料警報スイッチと接続し，他端のコネクタ（２極）とメインハーネスコネクタを接続します。リードワイヤＴのギボシ側を左タンクの肥料残量レベルセンサと接続し，他端のコネクタ（２極）とメインハーネスコネクタを接続します。

❸ 右側インジケータのコネクタとリードワイヤＪのコネクタ（３極）を接続し，他端を左側インジケータのコネクタ（３極）と接続するよう配索し，３番目のコネクタ（３極）とメインハーネスのコネクタを接続します。



13. PTOクラッチの調整

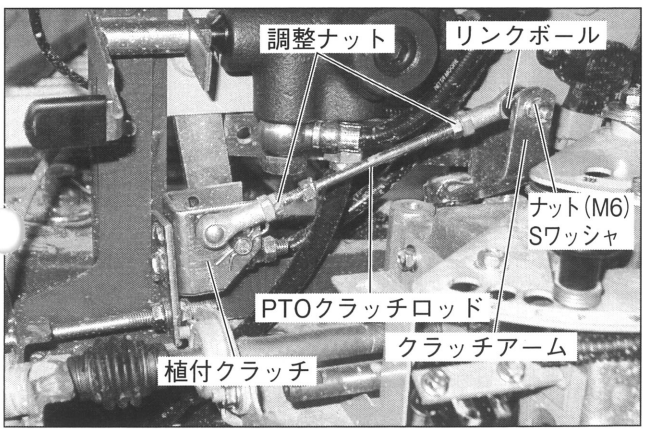
❶ 調整前にタンク内に水を入れます。

❷ クラッチアームとPTOクラッチロッドの接続を外します。

❸ 本機の副変速レバー……「N」(中立)
エンジンコントロールレバー……「低速」
主変速レバー……「前進」低速
ペースト施肥機の主変速……「1」
副変速……「低」
エンジンをかけ，上記の条件にセットし，植付部を駆動させ（植付け爪を数回動かす），植付クラッチが入った状態で警報スイッチを押しながらエンジンを止めます。

❹ PTOクラッチロッドのリンクボールがクラッチアーム側の穴にスムーズに抜き差しできることを確認します。できないときはクラッチロッドのナットをゆるめロッドを回して長さを調整します。

❺ クラッチロッドのリンクボールをクラッチアームに取付けナット（M6）とSワッシャで取付けてから，エンジンを始動し，植付クラッチに連動して，ペーストクラッチが働くことを確認します。



14. 外装の取付け

2. 本機の準備 と逆の手順で取付けます。

❶ 条止めカバーを取付けます。

❷ リヤステップを取付けます。

❸ シート下カバーを取付けます。

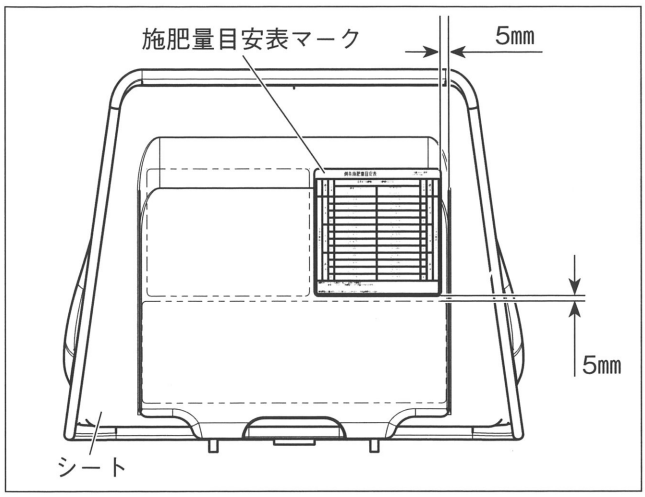
❹ シートを取付けます。

❺ パネルリヤカバーを取付けます。

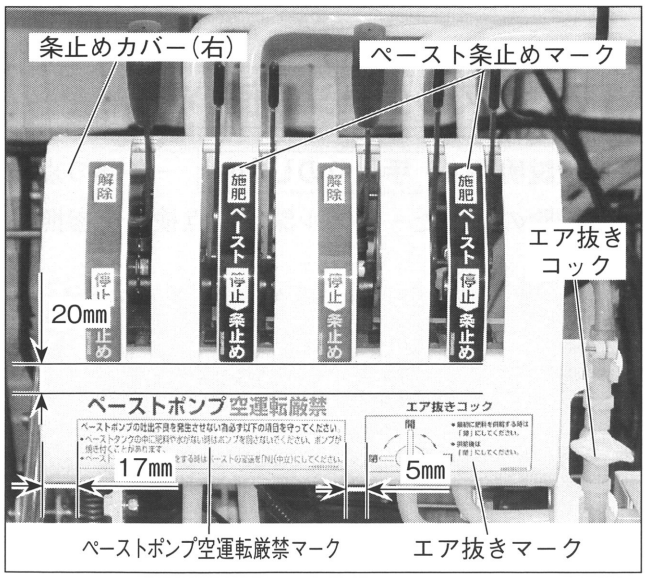
❻ コラムカバーを取付けます。

15. マークの貼付け

❶ シートの後ろに施肥量目安表マークを貼付けます。



❷ 左・右の条止めカバーにペースト条止めマーク，右側の条止めカバーのみにペーストポンプ空運転厳禁マーク，エア抜きマークを貼付けます。



16. 組立後の確認

組立て後，つぎの点をチェックします。

❶ 各取付部のボルト・ナット類が確実に締付けてあるか確認します。

❷ 各ホース・パイプが確実に取付けてあるか確認します。

❸ 各配線が確実に取付けてあるか確認します。

❹ 各ホース・パイプ・配線が作動部に接触していないことを確認します。

❺ 植付部を上下動させ，パイプや配線の引張りのないことを確認します。

❻ インジケータの条止めランプの作動をランプ点灯にて確認します。

❼ 肥料警報センサの作動をランプ点灯・ブザー音にて確認します。

❽ ノズルの深さをノズルゲージで確認します。

17. ノズルゲージの使い方

※取扱説明書（ **手入れのしかた** －各部の点検と掃除のしかた－ノズル深さの点検）を参照ください。